

報 道 発 表

平成30年2月23日



財務省
長崎税関
NAGASAKI CUSTOMS

クルーズ船旅客による覚醒剤密輸事件等を摘発

～平成29年の長崎税関における関税法違反事件の取締り状況～

長崎税関は、平成29年の1年間に長崎税関管内において不正薬物の密輸入その他の関税法違反事件を取り締まった実績をまとめましたのでお知らせします。

- ◆長崎税関は、関係する税関及び警察並びに海上保安庁との共同調査により、クルーズ船旅客による覚醒剤密輸入事件や洋上取引による金地金密輸入事件等11件を摘発
- ◆長崎税関は、警察、海上保安庁との共同調査により、不正薬物密輸入事件3件（覚醒剤1件、指定薬物2件）、商標権侵害物品密輸入事件1件の計4件を告発

【覚醒剤事犯】





告発年月	平成29年9月
摘発年月	平成29年8月
摘発場所	長崎県長崎港
事件概要	長崎税関は、平成29年8月に中国・上海港からクルーズ船を利用して長崎港に到着した中国人男性のクルーズ船客室内から 覚醒剤 約6グラム を発見・摘発し、長崎海上保安部と共同調査を実施のうえ、同年9月に犯則嫌疑者である中国人男性1名を関税法違反（輸入してはならない覚醒剤の運送罪）で長崎地方検察庁へ告発した。


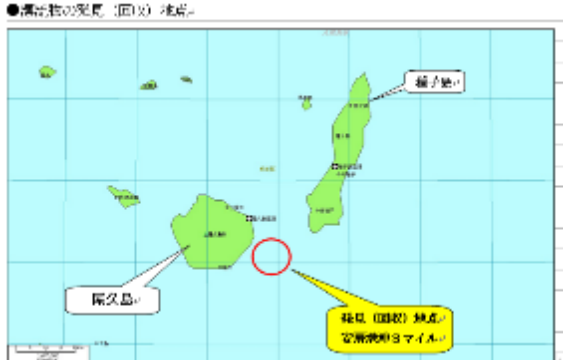
【参考】

- ☞ 海外からのクルーズ船の乗客が覚醒剤に関して摘発されるのは全国で2例目
- ☞ 末端価格で約40万円、薬物乱用者の通常使用量で約200回分

【指定薬物事犯】

	
告発年月	平成 29 年 5 月、6 月
摘発年月	平成 27 年 12 月～平成 29 年 1 月
摘発場所	横浜税関川崎外郵出張所
事件概要	<p>平成 27 年 12 月～平成 29 年 1 月までの 4 回に亘り、オーストラリア連邦から国際郵便物（航空通常郵便物）を利用して、 指定薬物である亜硝酸イソブチルを含有する液状物 約 211.33 グラム を密輸入しようとしたが、横浜税関川崎外郵出張所が輸入郵便物検査で発見、摘発した。</p> <p>名宛先が長崎税関管内であったことから、事件引継ぎを受け、鹿児島税関支署が鹿児島県警察と共同調査のうえ、日本人 1 名を関税法違反で鹿児島地方検察庁へ告発した。（2 事件）</p>



【麻薬事犯】

	
告発年月	調査中
摘発年月	平成 29 年 7 月
摘発場所	鹿児島県屋久島沖
事件概要	<p>鹿児島税関支署は、平成 29 年 6 月に鹿児島県屋久島町安房港南方沖合約 5.5 キロメートル（約 3 海里）の沖合に ヘロイン 約 70 キログラム が漂着している旨の通報を受けた。</p> <p>現在、関税法違反、麻薬及び向精神薬取締法違反容疑で第十管区海上保安本部及び鹿児島県警察と共同調査中である。</p>

【参考】

☞ 日本におけるヘロイン押収量としては過去最高であり、末端価格は約 21 億円相当 ※これまでは平成元年の約 27.7 kg が最高

【金地金事犯】

 	
告発年月	平成 29 年 6 月
摘発年月	平成 29 年 5 月
摘発場所	佐賀県名護屋港
事件概要	<p>平成 29 年 5 月、長崎県壱岐を出港した小型漁船が、東シナ海公海上において、国籍、船名等不詳の船舶と接触の上、</p> <p>金地金 約 206 キログラム（鑑定価格：約 9 億 3,000 万円相当）を積載し、佐賀県唐津市所在の名護屋港岸壁に入港接岸のうえ金地金を陸揚げし、税関長の許可を受けずに金地金を輸入したところを長崎税関、門司税関、第七管区海上保安本部、佐賀県警察等の関係取締機関が発見・摘発した。</p> <p>同年 6 月、門司税関が日本人 7 名及び中国人 3 名を関税法違反（無許可輸入）及び消費税法違反で佐賀地方検察庁へ告発した。</p> <p>脱税額 約 7,440 万円 （消費税約 5,860 万円、地方消費税約 1,580 万円）</p>

【参考】

- ☞ 洋上取引による金地金密輸事件の摘発は全国初、1 回の押収量としては過去最多

【商標権侵害事犯】

	
告発年月	平成 29 年 3 月
摘発年月	平成 28 年 11 月
摘発場所	熊本県警察
事件概要	<p>八代税関支署は、中華人民共和国から密輸入された</p> <p>コーチ・インコーポレーテッド社の商標権を侵害する財布 10 点にかかる関税法違反事件に関して、熊本県熊本中央警察署と共同調査を実施し、平成 29 年 3 月に中国人男性 1 名を関税法違反で熊本地方検察庁に告発した。</p>

関税法違反事件の犯則態様別処分件数【長崎税関】

【告発・通告処分】

(件)

犯則態様	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年		
						前年比	構成比
禁制品輸出入事犯	5	－	11	14	7	50%	54%
関税脱税事犯	－	－	3	1	1	100%	8%
無許可輸出入事犯	6	4	14	9	3	33%	23%
虚偽申告輸出入事犯	2	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	1	1	2	200%	15%
合計	13	4	29	25	13	52%	100%

問合せ先：長崎税関総務部税関広報広聴官

Tel 095-828-8606